

「川崎市における依存症支援ニーズ調査」の実施について
(協力依頼)

【目的】

依存症は、適切な治療と支援により回復が十分可能な病気である一方、相談支援体制が整っているとは言えず、依存症患者が必要な支援を受けられていない現状にある。依存症のなかでも治療が一番進んでいると言われているアルコール依存症でも、治療対象者数は推定 109 万人に対して受診患者は 5 万人足らずと大きな開きがある。国としても昨年度より予算を 8.1 億円から 9.3 億円へ増額し、対策を講じているところである。地域における患者・家族への相談支援及び啓発のための体制整備や、関係機関の連携強化が求められている。

以上より、当事者や家族が訪れる可能性のある窓口における依存症の知識や理解及び対応方法を把握・分析し、依存症対策やそれを推進する人材育成のあり方を考える基礎資料とする。

【依頼先】

組織票：川崎市内の相談機関、支援機関、医療機関、依存症支援団体等

個別票：各対象施設において、医療や相談支援等に従事している方

【内容】

郵送による質問紙調査またはウェブ調査

組織票：その施設の概要、依存症への対応状況、依存症に関する知識や理解

個別票：依存症への対応状況、依存症に関する知識や理解

【今後のスケジュール】(予定)

令和 2 年 1 2 月初旬 調査票の送付

令和 3 年 1 月末 調査票の返送締切

令和 3 年 2 月 集計

令和 3 年 3 月 報告書のとりまとめ

川崎市精神保健福祉センター
診療相談係
電話 0 4 4 (2 0 1) 3 2 4 2